

# 福島県の復興状況等について



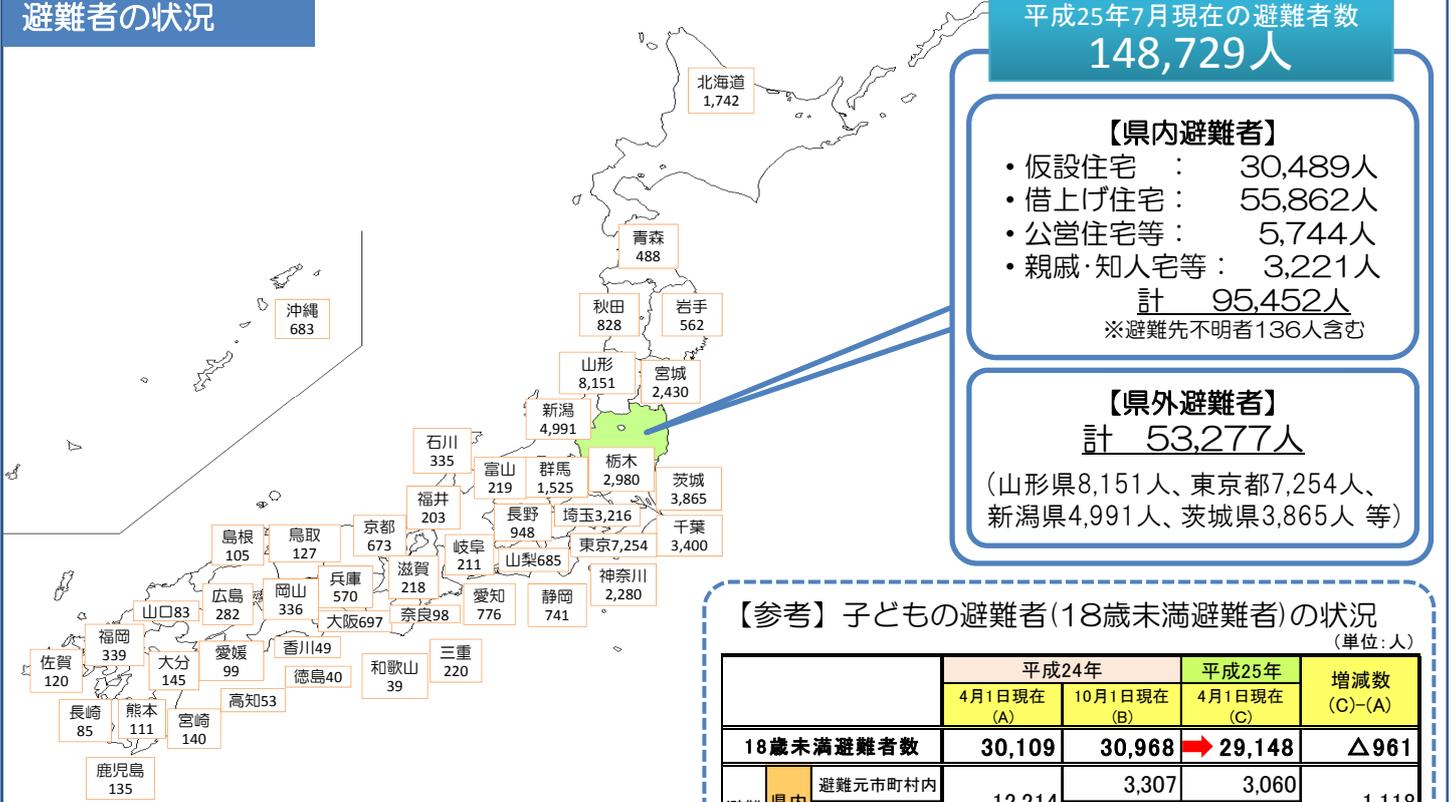
平成25年8月  
福島県

# 避難状況

## ポイント

平成25年7月現在の避難者数は15万人を切り、14万8,729人となっています。  
このうち県内への避難者は約9万6千人、県外への避難者は約5万4千人となっており、まだまだ多くの方々が避難生活を余儀なくされています。

### 避難者の状況



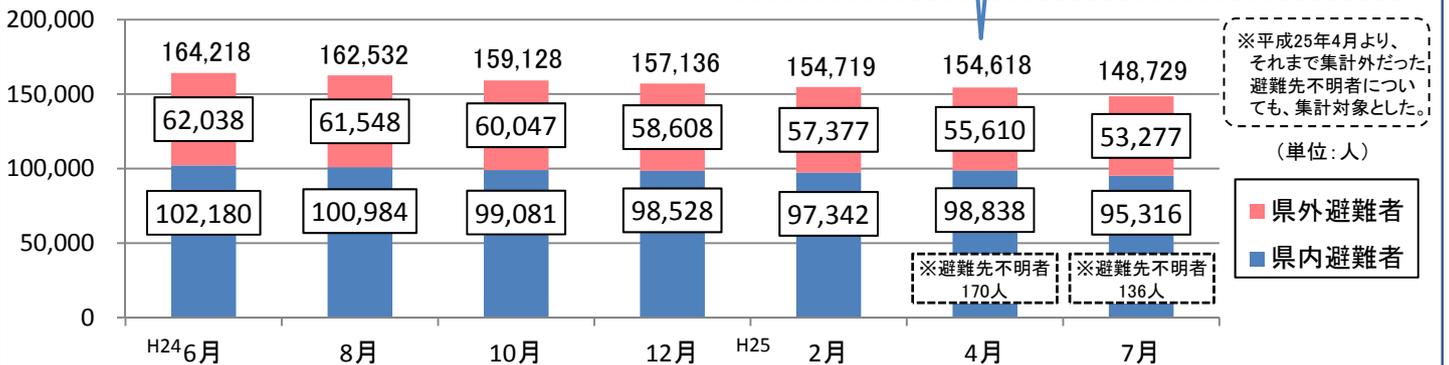
### 【参考】子どもの避難者(18歳未満避難者)の状況

(単位:人)

|                  | 平成24年         |                | 平成25年         | 増減数<br>(C)-(A) |
|------------------|---------------|----------------|---------------|----------------|
|                  | 4月1日現在<br>(A) | 10月1日現在<br>(B) | 4月1日現在<br>(C) |                |
| <b>18歳未満避難者数</b> | <b>30,109</b> | <b>30,968</b>  | <b>29,148</b> | <b>△961</b>    |
| 避難先別             | 避難元市町村内       | 3,307          | 3,060         | 1,118          |
|                  | 避難元市町村外       | 10,691         | 10,272        |                |
| 県外               | 17,895        | 16,970         | 15,816        | △2,079         |

※10月の調査より県内の同じ市町村内の避難者数も報告に含めている。  
(4月現在においても一部同じ市町村内の避難者数も含まれている)

### 避難者数の推移



【データ出典】福島県災害対策本部 公表資料

### 福島県の人口推移

(単位:人)

|                     | 世帯数     | 人口        | 年齢別人口         |                  |         |         | 年齢不明   |
|---------------------|---------|-----------|---------------|------------------|---------|---------|--------|
|                     |         |           | 年少人口<br>0~14歳 | 生産年齢人口<br>15~64歳 | 老年人口    |         |        |
|                     |         |           |               |                  | 65歳以上   | 75歳以上   |        |
| 平成23年3月1日           | 721,535 | 2,024,401 | 274,322       | 1,235,833        | 502,160 | 275,465 | 12,086 |
| 平成24年3月1日           | 715,952 | 1,978,924 | 258,725       | 1,207,688        | 500,425 | 277,064 | 12,086 |
| 平成25年7月1日           | 720,657 | 1,948,898 | 247,691       | 1,171,077        | 518,044 | 283,406 | 12,086 |
| 増減(23年3月1日~25年7月1日) | ▲ 878   | ▲ 75,503  | ▲ 26,631      | ▲ 64,756         | 15,884  | 7,941   | 0      |
| 増減率                 | ▲ 0.12  | ▲ 3.73    | ▲ 9.71        | ▲ 5.24           | 3.16    | 2.88    | 0.00   |

【出典】福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)

# 被災者の生活再建

## ポイント

長期化する避難生活の不安解消を図るため、復興公営住宅等の整備が本格化し始めています。県では、平成27年度までに約3700戸の復興公営住宅等を整備する第1次計画を決定。既に昨年度から500戸(いわき市250戸、郡山市160戸、会津若松市90戸)の整備に着手しています。

### 住環境の再建

(平成25年6月末現在)

|          |  |
|----------|--|
| 仮設住宅整備状況 | 16,800戸 (充足率 99.5%)  |
| 借上住宅支援状況 | 23,927戸 (一般1,162戸、特例22,765戸)<br>※数値は県内の状況のみ                              |
| 住宅再建状況   | 15,840件 (進捗率54.9%)<br>(被災者生活再建支援制度における加算支援金申請件数15,840件/基礎支援金申請件数28,847件) |



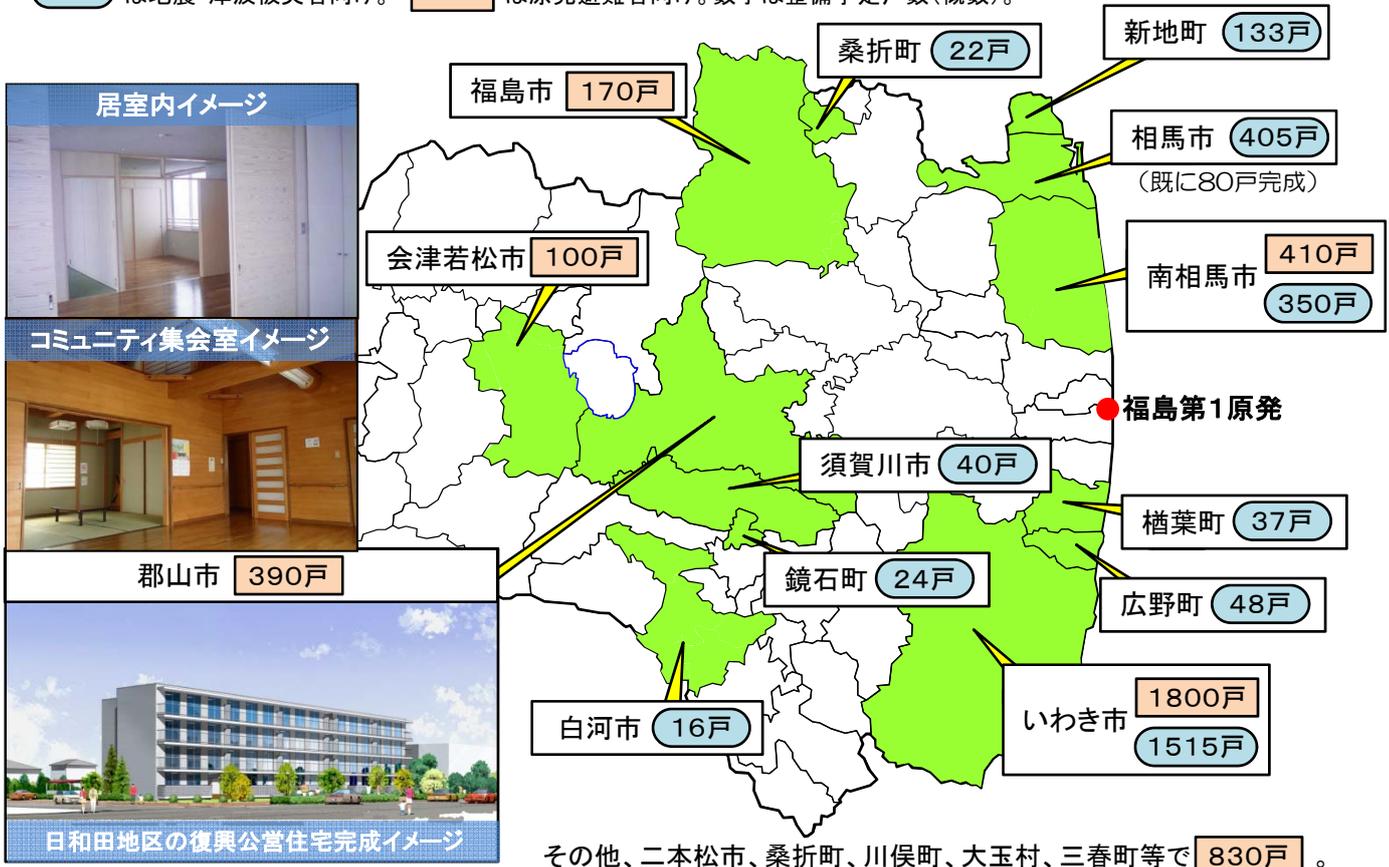
今後移行



### <復興公営住宅等の整備状況>

| 区分         | 計画戸数   | 完成戸数        |
|------------|--|-------------|
| 地震・津波被災者向け | 10市町で計2,544戸を整備予定。   | 80 (市町村営のみ) |
| 原発避難者向け    | 第1次分として平成27年度までに概ね3,700戸を整備予定。<br>※平成24年度に500戸の整備に着手済み。<br>(いわき市250戸、郡山市160戸、会津若松市90戸) | 0           |

○ は地震・津波被災者向け。 □ は原発避難者向け。数字は整備予定戸数(概数)。



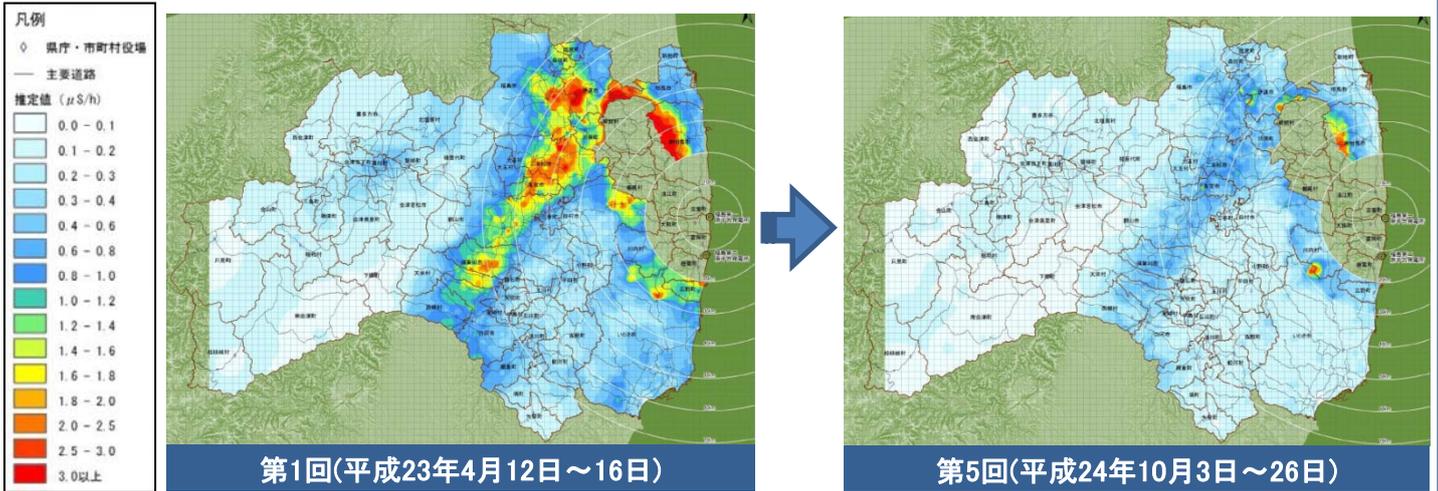
● 環境回復

ポイント

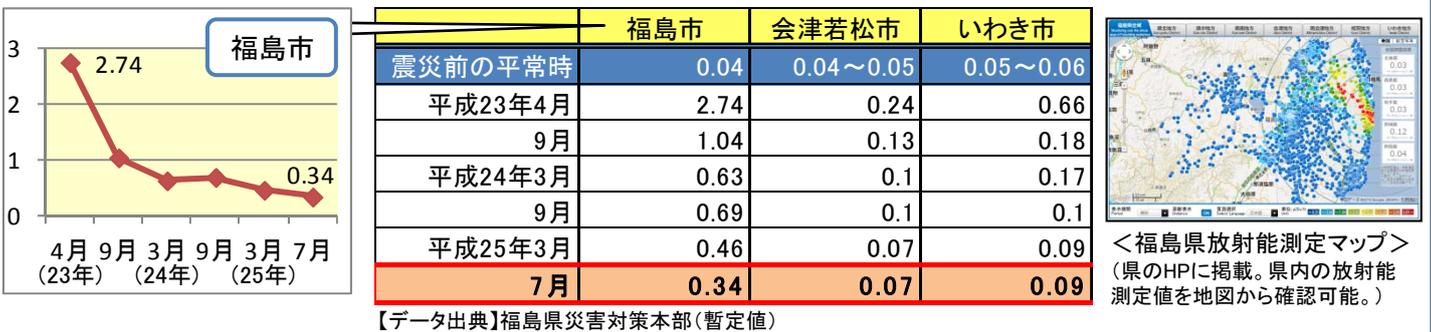
県内の空間放射線量は、平成23年4月時点に比べ、かなり下がってきています。一方、除染については、発注率が伸びてきているものの、実績率が伸び悩んでいるのが現状です。今後もさらなる推進に向け全力で取り組んでいきます。

福島県内の空間放射線量の推移

◆福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査結果に基づく福島県全域の空間線量率マップ

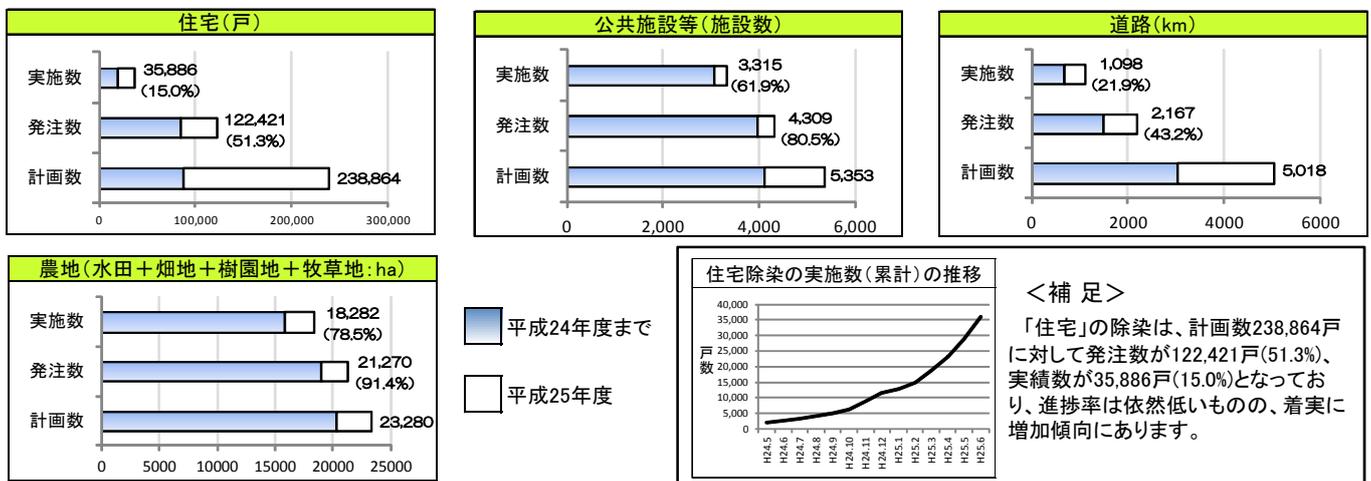


◆大気中の放射線量測定結果の推移



市町村除染地域における除染実施状況

25年度末までの計画数に対する除染の進捗状況(平成25年6月末時点)



## 災害廃棄物の処理

### ◆災害廃棄物の処理状況

平成25年6月末現在

| 災害廃棄物発生<br>見込量(千トン) | 仮置場搬入量<br>(千トン) |       | 処理・処分量<br>(千トン) |        |
|---------------------|-----------------|-------|-----------------|--------|
|                     |                 | 搬入量   |                 | 処理・処分率 |
| 3,459               | 2,243           | 64.8% | 1,703           | 49.2%  |



平成25年2月20日に始動した相馬市仮設焼却炉

### ◆汚染廃棄物の保管状況

|                | 保管量(トン)              | 備考  |
|----------------|----------------------|---|
| 下水汚泥等          | 53,870 (平成24年9月21日)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内下水処理場分(県・市町村管理)</li> <li>・震災以降、汚泥の搬出が滞り、場内での保管量が増加。現在、搬出先の確保と汚泥の減容化に取り組んでいる。</li> </ul> |
|                | 約74,000 (平成25年7月19日) |   |
| 焼却灰<br>(一般廃棄物) | 56,698 (平成24年7月末)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保管中</li> <li>・8,000Bq/kg以下のものを含む。</li> </ul>  |
|                | 約122,000 (平成25年6月末)  |   |

## ● 公共インフラ等の復旧と整備

### ポイント

津波被災地を中心に、今後も復旧工事の早期完了を目指し、安全安心の確保に努めていきます。  
(※巻末に「参考」として詳細情報を掲載しています。)

### 公共土木施設の災害復旧

平成25年7月10日現在

#### ◆工事箇所別進捗状況

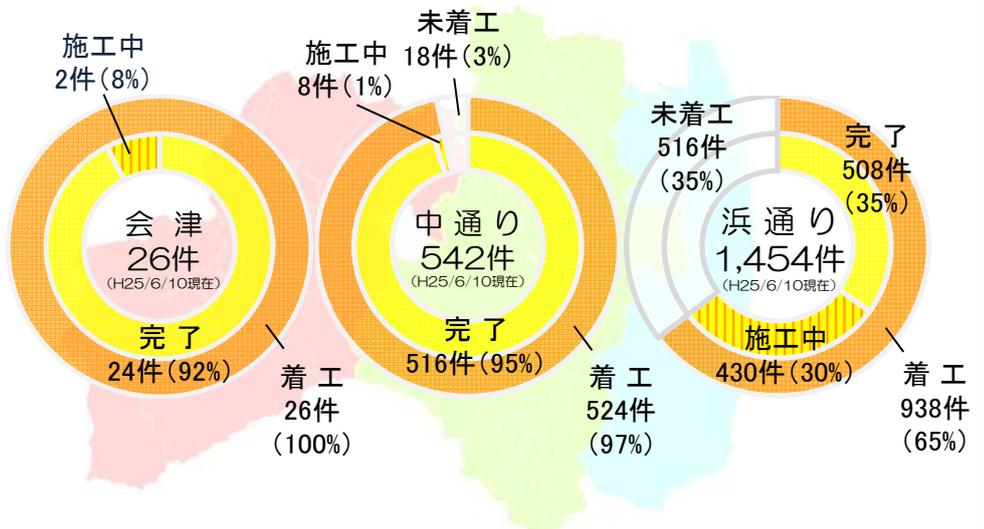
| 公共土木施設等災害復旧<br>工事箇所 | 査定決定数<br>(復旧工事箇所数) | 着工件数  |        | 完了件数  |        |
|---------------------|--------------------|-------|--------|-------|--------|
|                     |                    |       | 着工率(%) |       | 完了率(%) |
| 計                   | 2031               | 1,500 | 74%    | 1,052 | 52%    |
| 河川・砂防(箇所数)          | 277                | 182   | 66%    | 137   | 49%    |
| 海岸(箇所数)             | 150                | 63    | 42%    | 16    | 11%    |
| 道路・橋梁(箇所数)          | 748                | 645   | 86%    | 587   | 78%    |
| 港湾(箇所数)             | 335                | 257   | 77%    | 172   | 51%    |
| 漁港(箇所数)             | 424                | 256   | 60%    | 47    | 11%    |
| 下水(箇所数)             | 3                  | 3     | 100.0% | 3     | 100.0% |
| 公園・都市施設(箇所数)        | 5                  | 5     | 100.0% | 5     | 100.0% |
| 公営住宅(箇所数)           | 89                 | 89    | 100.0% | 85    | 96%    |

被災した公共土木施設の約7割で復旧工事に着手しており、既に全体の約半分が完了しています。



#### ◆地域別進捗状況

甚大な被害を受けた「浜通り」の進捗をいかにスピードアップしていくかが課題です。



## ◆ 災害復旧の事例

被災箇所：いわき市（渡辺町地内）  
 県道いわき石川線  
 被害：大規模地すべりによる斜面崩壊

被災直後



応急復旧後



被災箇所：新地町 木崎地区海岸  
 被害：津波による堤防欠壊、消波堤・沖合施設の沈下・飛散

被災直後



応急復旧後



## 復興に向けた戦略的道路整備

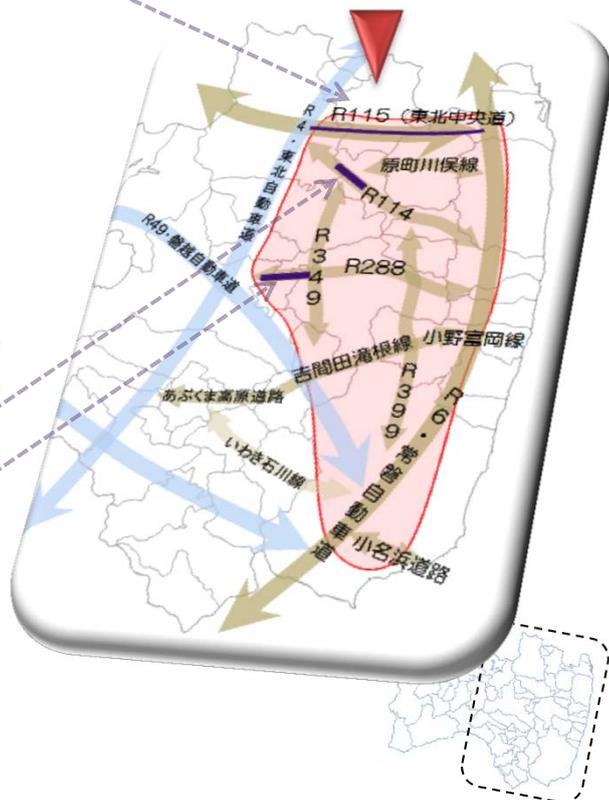
### 一般国道115号「相馬福島道路」

平成25年度から未事業化区間であった「霊山-福島間」（約12.2km）を含む全区間で事業に着手



避難解除等区域の復興を周辺地域から強力に支援するため、概ね10年後を目安に基幹的な道路（高速道、直轄国道等）に囲まれるエリアの主要路線の整備を進めています。

戦略的道路整備エリア



### ふくしま復興再生道路

114号 小綱木バイパスの一部開通（平成25年4月24日）

288号 三春西バイパスの全線開通（平成25年5月23日）



【参考】ふくしま復興再生道路 8路線

- 県道小野富岡線
- 県道原町川俣線
- 国道349号
- 国道288号
- (仮)小名浜道路
- 県道吉間田滝根線
- 国道399号
- 国道114号

## 農林水産業施設等の復旧状況

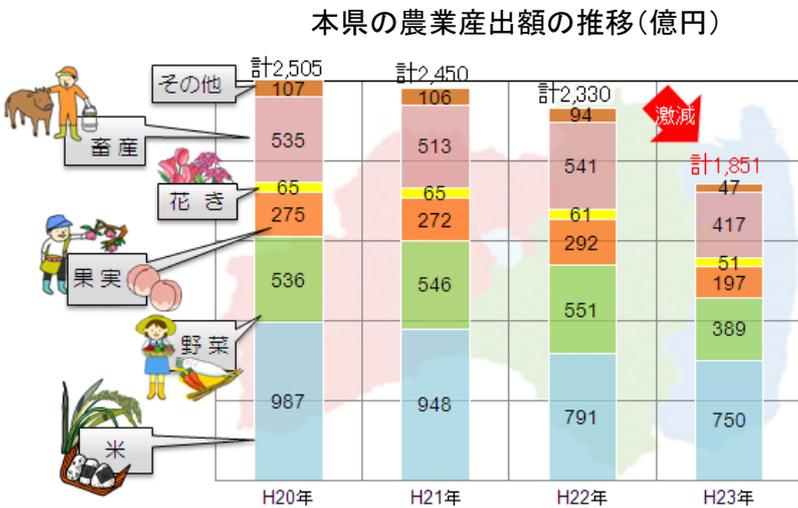
| 農業施設等                        | 進捗率              | 復旧・復興の状況／被害状況              |           |
|------------------------------|------------------|----------------------------|-----------|
| 農地<br>(営農再開可能面積の割合)          | 24.7%<br>(H25.5) | 営農再開が可能な農地面積               | 1,350ha   |
|                              |                  | 東日本大震災に伴う津波被災農地面積（旧警戒区域含む） | 5,460ha   |
| 農業経営体<br>(経営再開状況)<br>※一部再開含む | 58.7%<br>(H25.4) | 営農を再開した経営体                 | 10,100経営体 |
|                              |                  | 東日本大震災による被害のあった経営体         | 17,200経営体 |
| 漁業経営体<br>(経営再開状況)            | 4.6%<br>(H25.4)  | 漁業を再開した経営体                 | 30経営体     |
|                              |                  | 東日本大震災による被害のあった経営体         | 740経営体    |
| 農地・農業用施設等の<br>復旧工事           | 79.3%<br>(H25.5) | 着手済地区                      | 2,213地区   |
|                              |                  | 査定完了地区                     | 2,790地区   |

## ● 農林水産業の状況

### ポイント

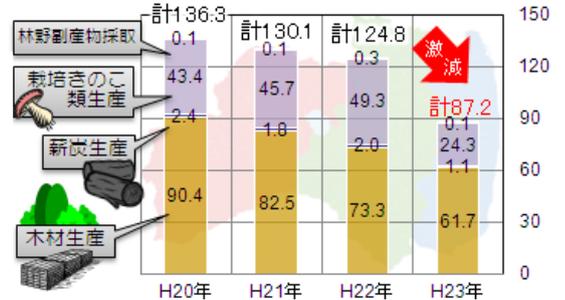
農林水産業については、震災前に比べ産出額が減少しております。今後、被災者の生活再建のためにも農林水産業の再生に向けた取組みを進めるとともに、県産農林水産物の魅力と安全・安心に向けたPR活動等を全力で進めていきます。

### 農業産出額の推移

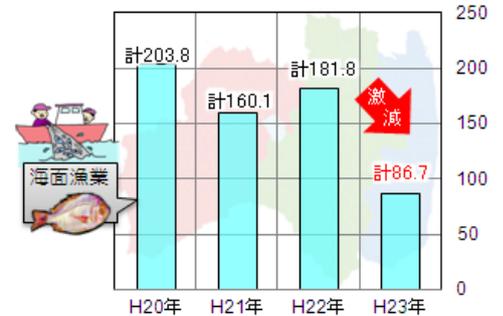


【出典】農林水産省 生産農業所得統計、生産林業所得統計報告書、海面漁業生産統計調査

### 本県の林業産出額(億円)

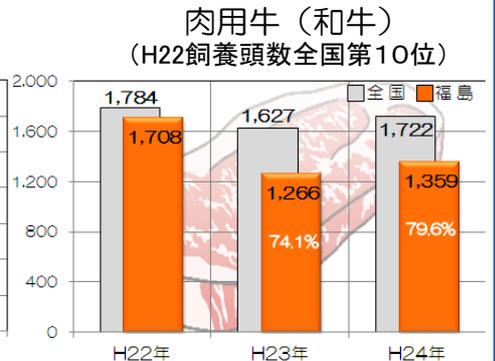
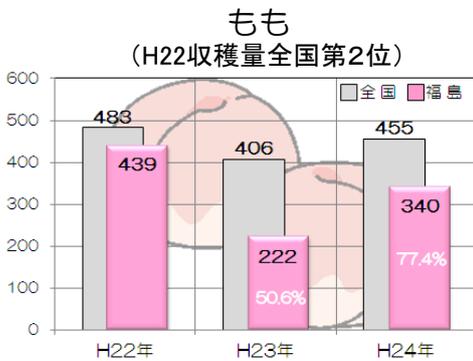


### 本県の海面漁業生産額(億円)



### 農産物価格の推移

(グラフ中の「〇〇%」はH22年度との比較値)



【出典】東京都中央卸売市場ホームページ市場統計情報

### 県産農林水産物のPR

風評払拭を図るため、県産農林水産物の魅力と安全・安心に向けたPR活動等を行っています。



「新生！ふくしまの恵み発信事業」

県産農林水産物の魅力と安全・安心に関するPR活動として、『おいしいふくしま、できました。』をキャッチフレーズに、ふくしまの豊かな自然と農林水産物の魅力、安全管理の取組などを様々なメディアやセミナー等を通して発信しています。

## ● 食品の安全・安心に向けた取り組み

### ポイント

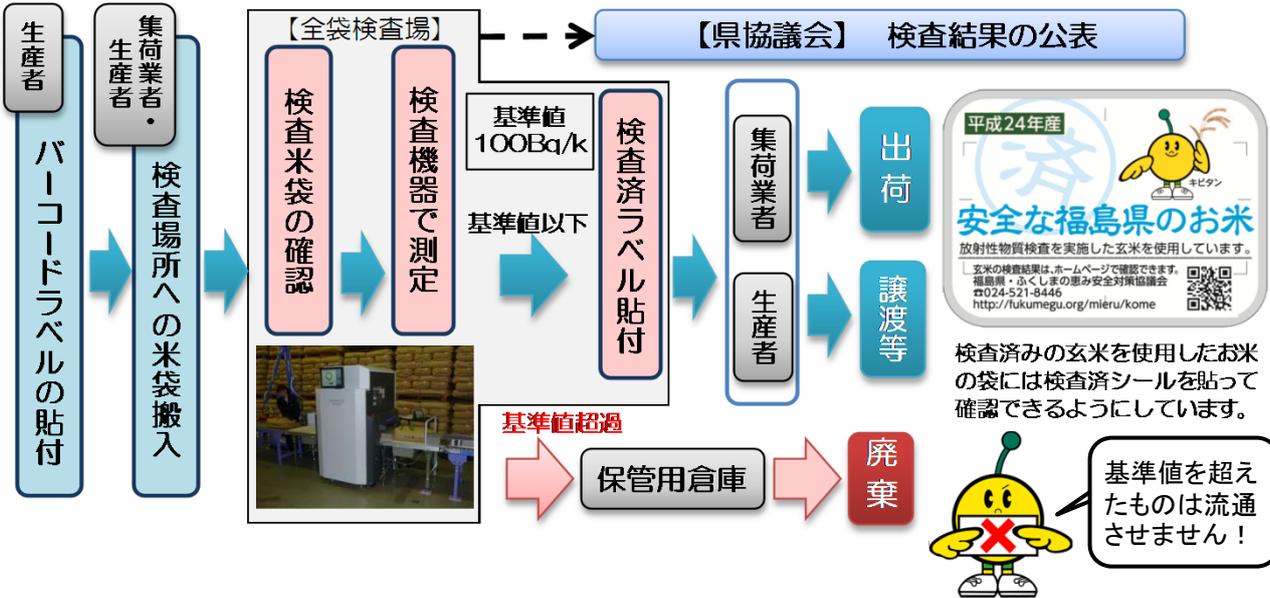
福島県では、放射性物質が基準値を超える食品を流通させないため、検査体制を強化し、安全を確認しています。特に主食であるお米については、県内全域で全ての米袋を検査し、出荷・販売するお米には検査済シールを貼付しています。

また、自家消費野菜等の放射性物質を分析するための簡易分析装置を県内全市町村に配備するとともに、食品と放射能に関するリスクコミュニケーションの取り組みにも力を入れています。

### 県産農林水産物のモニタリング状況

| 県産農林水産物のモニタリング状況<br>(平成24年4月～25年6月末) | 玄米<br>(H24年産) | 野菜・果実 | 畜産物<br>(原乳・肉類・鶏卵) | 山菜・きのこ<br>(野生含む) | 水産物    |
|--------------------------------------|---------------|-------|-------------------|------------------|--------|
| 検査数                                  | 10,331,405    | 8,857 | 8,381             | 1,910            | 9,019  |
| 基準値超過数                               | 71            | 7     | 0                 | 166              | 993    |
| 基準値超過数の割合                            | 0.0007%       | 0.08% | 0.00%             | 8.69%            | 11.01% |

#### <米の全量全袋検査>



### 食品と放射能に関するリスクコミュニケーション

食品中の放射性物質に関する正しい情報や知識を提供するため、学識経験者による説明や放射能簡易分析の実演等を交えた説明会などを開催しています。



食品と放射能に関する説明会



リスクコミュニケーションの開催



検査員(放射能簡易分析)の研修

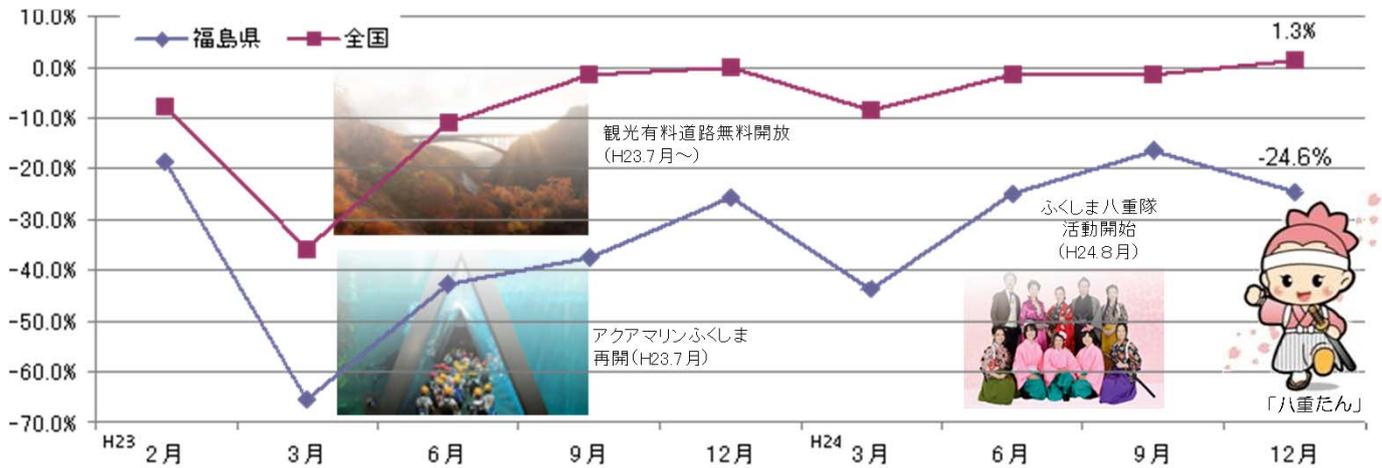
## ● 観光業の再生

### ポイント

観光客数はまだまだ震災前の水準には戻っていませんが、大河ドラマ「八重の桜」などを好機とした観光再生が着実に進んでおり、今後も平成27年春にJRと共同で開催するデスティネーションキャンペーンに向けた取り組みなど、観光誘客に向けた取り組みを積極的に進めていきます。

### 観光客中心の施設における実宿泊者数（人泊）の推移

・実宿泊者数について前年同月と比較（但し、H24.3月以降はH22年同月比）



※【観光客中心の施設】とは、宿泊者のうち観光目的の宿泊者が全体の50%以上と回答した施設。

【出典】観光庁 宿泊旅行統計調査

### 「八重」効果などで観光再生が加速



#### ■ 鶴ヶ城

天守閣への入場者数は平成20年度の95.3%まで回復。



#### ■ 東北六魂祭

6月1日、2日に開催。25万人の観光客が詰めかけました。



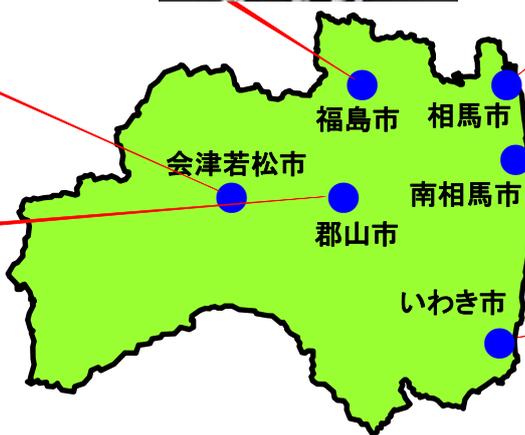
#### ■ 相馬野馬追

昨年7月から再開し、大勢の観光客で賑わいました。



#### ■ 原子力安全に関する福島関係会議

平成24年12月に開催。117カ国と13の国際機関から、のべ1700名が参加。本県の復興へ向けた姿や魅力を発信。



#### ■ アクアマリンふくしま

入館者数は震災前の6~7割に回復。

#### ■ 平成27年度デスティネーションキャンペーンの開催決定



JRグループ6社と全国の旅行会社等の協力を得ながら重点的かつ集中的に全国で宣伝販売が展開される国内最大規模の観光キャンペーンが開催されます。

#### ■ 本県への渡航制限の解除に向けた要請などを実施



台湾チャーター便



韓国チャーター便の到着

平成24年3月、台湾が本県全域に対する渡航制限を解除、7月には韓国、香港が渡航制限を緩和しましたが、中国は依然として、渡航制限が発せられたままです。

# 福島県の総合的な風評対策の取組

|             | 4月  | 5月 | 6月 | (7月) |
|-------------|---|----|----|------|
| 復興の総合的な動き   | 新生ふくしま復興推進本部会議（随時柔軟に開催）<br>★第3回会議(4/8) ★第4回会議(4/22) ★第5回会議(5/28) ★第6回会議(6/10) ★第7回会議(6/14・復興公営住宅整備計画)<br>ふるさと帰還の環境づくり（復興公営住宅、インフラ整備、海岸の復旧・復興、働く機会の確保、避難者の心をつなぐ取組）<br>情報発信戦略会議   |    |    |      |
|             | ★浪江町区域再編(4/1) ★県選出国会議員説明(4/16) ★秋篠宮同妃両殿下ご来県(5/9,10) ★復興・再生に関する要望(6/12東京)<br>母子避難者等の高速道路無料化措置(4/26)★ ★改正特措法施行(5/10) ★双葉町区域再編(5/28) ★双葉町いわき事務所開所(6/17)<br>★原子力損害賠償紛争審査会現地調査(5/12) ★原子力損害賠償紛争審査会現地調査(6/12) ★原子力損害賠償紛争審査会(6/22)                                     |    |    |      |
| 生活を取り巻く環境の姿 | 各種のモニタリング調査（空間線量、土壌、農林水産物等）、除染の推進、廃棄物の処理促進<br>県民健康管理調査（甲状腺検査、ホールボディカウンター検査、健康診査等）<br>放射能に関する各種説明会の実施、小・中学校における放射線教育の充実<br>放射線を正しく知るための市民講座(5/18)★ 食の安全・安心アカデミー(5/23)★ IAEA緊急時対応能力研修セミナー(5/27福島)   |    |    |      |
|             | 農林水産・県産品関係の動き<br>★県 & 全農県本部市場流通向け農産物安全性PR(4/15東京) ★ふくしまの恵み発信記者発表(5/31東京)★ 春野菜PR、TOKIOCM、県内外でのPR 夏野菜・ももPR<br>がんばろう！応援店キャンペーン(6/1-7/5)<br>おいしい大賞キャラバン（道の駅などでの6次化商品PR活動）<br>大相撲5月場所知事賞授与(5/26東京)★ 農林水産業特区申請(6/21)★<br>築地福ふく市(4/29)★ 築地福ふく市(5/29)★ 築地福ふく市(6/29)★    |    |    |      |
| 元気な産業の姿     | 観光復興の動き<br>キビタン、八重たん、ふくしま八重隊、チームキビタン、HAPPY隊、うつくしまライシーホワイト、ふるまい隊等によるPR活動<br>観光特区の検討、教育旅行誘致キャラバン(5月-2月)、サザエさんによる福島県PR(4月-9月)<br>山手線ラッピング(4/7-5/4) ★はるか植樹祭(4/20) ★アライリノジグザグチーム(5/9-12) ★日・ASEAN観光協力政策対話(6/17-19いわき他)<br>★台湾から便&観光物産フェア(5/16-20) ★台湾教育旅行受入(5/20,21) |    |    |      |
|             | 力強い足取りの姿<br>小・中・高等学校における理数教育の充実、道徳教育の充実<br>国道114号小綱木BPトンネル開通(4/24)★ ★(一財)ふくしま医療機器産業推進機構設立(5/1) ★アライリノジグザグ&ヒビキ祭典2013(6/6-8横浜)<br>浜崎高野会津若松線清水田BP開通(4/26)★ ★国道288号三春西BP開通(5/23) ★企業立地促進計画(6/10特措法・旧警戒区域等新規立地)  |    |    |      |

|             | 7月  | 8月 | 9月 | (10月) |
|-------------|---|----|----|-------|
| 復興の総合的な動き   | 新生ふくしま復興推進本部会議（随時柔軟に開催）<br>ふるさと帰還の環境づくり（復興公営住宅、インフラ整備、海岸の復旧・復興、働く機会の確保、避難者の心をつなぐ取組）<br>情報発信戦略会議<br>★包括連携協定 ★天皇后両陛下下行幸啓(7/22-23) 国・概算要求  |    |    |       |
|             | 各種のモニタリング調査（空間線量、土壌、農林水産物等）、除染の推進、廃棄物の処理促進<br>県民健康管理調査（甲状腺検査、ホールボディカウンター検査、健康診査等）<br>放射能に関する各種説明会の実施、小・中学校における放射線教育の充実<br>★福大公開シンポジウム「3.11後の科学と社会」(7/13福島) ★米の全量全袋検査(8月下旬～)<br>「食の安全・安心アカデミー」(8/1福島)★   |    |    |       |
| 生活を取り巻く環境の姿 | 農林水産・県産品関係の動き<br>がんばろう！応援店キャンペーン(7/15)★ 夏野菜・ももPR、TOKIOCM、県内外でのPR 秋の味覚TOKIOCM、県内外でのPR がんばろう！応援店キャンペーン(9/21~11/9)<br>おいしい大賞キャラバン（道の駅やJAまつりなどでの6次化商品PR活動）<br>新会津伝統美食フェスタ(7/12~21) トアアベールキャラバン（首都圏・関西・北海道）<br>★農林水産業特区認定(7/5) 「ふくしま新発売。」店頭イベント<br>★福島フェスmini(7/6-7東京) ★秋葉原ふくしま応援産直フェア(7/24-26) ★秋葉原ふくしま応援産直フェア(8/28-30) ★秋葉原ふくしま応援産直フェア(9/25-27)<br>全国農業コンクール大会(7/18,19郡山)★ ★「ふくしま新発売。」モーター(7/25) ★大相撲9月場所知事賞授与(9/29東京)<br>築地福ふく市(7/29東京)★ ★秋葉原ふくしま応援産直フェア(8/7-9) ★築地福ふく市(8/29東京) ★築地福ふく市(9/29東京) |    |    |       |
|             | 観光復興の動き<br>キビタン、八重たん、ふくしま八重隊、チームキビタン、HAPPY隊、うつくしまライシーホワイト、ふるまい隊等によるPR活動<br>観光特区の検討、教育旅行誘致キャラバン(5月-2月)、サザエさんによる福島県PR(4月-9月)<br>県立美術館「東日本大震災復興支援特別展 若沖がきてくれました」(7/27-9/23)<br>★八重洲交流館4周年(7/8東京) ★関西ふくしま交流フェア(8/9-10京都) ★JATA旅博(9/12-15東京)<br>★リルチャー便(7/13) ★「八重のふるさと福島県」旅行会社説明会・交流会(8/9大阪)<br>観光有料道路恒久無料化(7/25~)★ 百貨店における物産展 札幌・京都 ★リルチャー便(8/23) ★リルチャー便(9/14) ★リルチャー便(9/21)<br>★グレスアイランドコンパニオン総決起大会(8/26)  |    |    |       |
| 元気な産業の姿     | 力強い足取りの姿<br>小・中・高等学校における理数教育の充実、道徳教育の充実、福島の未来を担う高校生海外研修支援事業<br>「ふくしまから はじめよう。」プロジェクト<br>産業応援、農商連携フェア募集 ★ふくしま復興住宅フェア(8/3-4若松)<br>★浮体式洋上風力発電安全祈願式・実証研究開始式(7/13いわき)<br>★医療機器開発安全性評価C設計開始<br>中野須賀川線袋田BP開通予定★ (都)腰浜町町庭坂線(三河北町工区)開通予定 (都)若宮野辺線(根崎工区)開通予定  |    |    |       |

|             |  | 10月  | 11月 | 12月    | (1月) |
|-------------|--|--|-----|--------|------|
| 復興の総括的な動き   | 新生ふくしま復興推進本部会議 (随時柔軟に開催)   |  |     |        |      |
|             | ★復興計画・総合計画進行管理   | 県平成26年度当初予算編成  |     |        |      |
|             | ふるさと帰還の環境づくり (復興公営住宅、インフラ整備、海岸の復旧・復興、働く機会の確保、避難者の心をつなぐ取組)  |  |     |        |      |
| 生活を取り巻く環境の姿 | 各種のモニタリング調査 (空間線量、土壌、農林水産物等)、除染の推進、廃棄物の処理促進  |  |     |        |      |
|             | 県民健康管理調査 (甲状腺検査、ホールボディカウンター検査、健康診査等)   |  |     |        |      |
|             | 放射能に関する各種説明会の実施、小・中学校における放射線教育の充実  |  |     |        |      |
| 元気な産業の姿     | 農林水産・県産品関係の動き  | お米PR、TOKIOCM、県内外でのPR 応援店キャンペーン(9/21-11-9)  |     | 6次化創業塾 |      |
|             | 観光復興の動き  | 新会津伝統美食フェア (10/12-20) <b>おいしい大賞キャラバン (道の駅やJAまつりなどでの6次化商品PR活動)</b><br>トアモースキャラバン (首都圏・関西・沖縄)<br>★ごちそうふくしま満喫フェア(10/5-6JRA福島競馬場) ★ふくしまフードフェア2013(11/12郡山)<br>★銘柄「福島牛」産地懇談会(10/10東京) ★銘柄「福島牛」産地懇談会(11/22郡山)<br>秋葉原ふくしま応援産直フェア(10/23-25) ★築地福ふく市(10/29) ★秋葉原ふくしま応援産直フェア(11/27-28)<br>★須賀川松明あかし(11/9) ★築地福ふく市(11/29)   |     |        |      |
|             | 力強い足取りの姿   | キビタン、八重たん、ふくしま八重隊、チームキビタン、HAPPY隊、うつくしまライシーホワイト、ふるまい隊等によるPR活動<br>観光特区の検討、教育旅行誘致キャラバン(5月-2月)<br>ツリヤー便 (10/14,18)★ <b>七転び八起き 観光キャラバン</b> ★ツリヤー便(11/2) ★ツリヤー便(11/22) ★ツリヤー便(12/6) ★ツリヤー便(12/21)<br>★ハトムツヤー便(11/1) ★ふくしま大交流フェア(12/23東京)<br>★旅フェア2013(11/8-10東京) ★Visit Japanトラベルmart(11/27-29横浜)<br>★全国グリーンツーリズムネットワーク福島大会(11/14-16喜多方) <b>温泉めぐりキャンペーン・モニターツアー</b><br>★二本松提灯祭り (10/27鏡石)★ (11/10鏡石)★ (11/17信夫丘)★ <b>ふくしま子供体験活動応援事業(12/1-1/31)</b><br>★パドミント日本リーグ2013(11/4郡山)<br>★東日本女子駅伝(11/10福島)<br>★日本デュアスロン選手権大会(11/10福島)<br>★須賀川松明あかし(11/9) ★東北ブロックスノー少年団柔道交流大会(11/23-24若松) |     |        |      |
| 活力創造の動き     | 小・中・高等学校における理数教育の充実、道徳教育の充実、福島の未来を担う高校生海外派遣研修事業<br>「ふくしまから はじめよう。」プロジェクト<br>医療機器展示会MEDICA (11/20-23ドイツNRW州)★ ★ふくしま復興住宅フェア(11/23-24福島) ★福島空港カントリー着工<br>浮体式洋上風力発電運転開始★ ★県算数・数学コンテスト(10/27) ★科学の甲子園福島県大会(11/16福島)<br>浮体式洋上風力発電プロジェクトふくしま (10/30-31郡山)★ 郡山大越線下大越BP開通予定★ ★ふくしま復興住宅フェア(12/7-9いわき)<br>再生可能エネルギー産業フェア(11/6-7郡山)★ 原町川俣線水境BP開通予定★ ★赤葉中島線駒ヶ嶺BP開通予定<br>相馬大内線黒木BP開通予定★ ★下郷会津本郷線関山BP開通予定 |  |     |        |      |



|             |   | 1月   | 2月 | 3月   | (4月) |
|-------------|---|--|----|--|------|
| 復興の総括的な動き   | 新生ふくしま復興推進本部会議 (随時柔軟に開催)                                  |  |    |  |      |
|             | 県平成26年度当初予算編成   |  |    |  |      |
|             | ふるさと帰還の環境づくり (復興公営住宅、インフラ整備、海岸の復旧・復興、働く機会の確保、避難者の心をつなぐ取組) |  |    |  |      |
| 生活を取り巻く環境の姿 | 各種のモニタリング調査 (空間線量、土壌、農林水産物等)、除染の推進、廃棄物の処理促進               |  |    |  |      |
|             | 県民健康管理調査 (甲状腺検査、ホールボディカウンター検査、健康診査等)                      |  |    |  |      |
|             | 放射能に関する各種説明会の実施、小・中学校における放射線教育の充実                         |  |    |  |      |
| 元気な産業の姿     | 農林水産・県産品関係の動き   | 天のつづTOKIOCM、県内外でのPR  |    | 6次化創業塾   |      |
|             | 観光復興の動き   | かわいい大賞キャラバン (道の駅などでの6次化商品PR活動) ★おいしい大賞発表<br>マリン・I・オブジィ (1/24-29パリ見本市)★ ★スーパーマケットレドジョー (2/12-14東京)<br>大相撲初場所知事賞授与(1/26東京)★ ★フデックスジャパン(3/4-7東京)<br>築地福ふく市(1/29)★ 築地福ふく市(3/29)★ |    |  |      |
|             | 力強い足取りの姿  | キビタン、八重たん、ふくしま八重隊、チームキビタン、HAPPY隊、うつくしまライシーホワイト、ふるまい隊等によるPR活動<br>教育旅行誘致キャラバン(5月-2月) DCポスター、パンフレットによるPR活動<br>温泉めぐりキャンペーン・モニターツアー H26プレDC<br>雪だるま大使派遣 コードF4周遊宝探しイベント            |    |  |      |
| 力強い足取りの姿    | ふるさとへの誇り継承の動き   | 県文化財センター白河館「救出された双葉郡の文化財Ⅱ」(1/18-3/23)<br>★十日市(1/10会津若松) ★全国高校総体スキー(2/4-8猪苗代)<br>★白河だるま市(2/11白河) ★喜多方冬まつり<br>★3.11復興の誓い(福島)   |    | ★声楽アンソングコンテスト(3/20-23福島)                                   |      |
|             | 活力創造の動き   | 小・中・高等学校における理数教育の充実、道徳教育の充実、ふくしまの未来を担う高校生海外派遣研修事業<br>「ふくしまから はじめよう。」プロジェクト   |    |  |      |
|             |   | ★福島再エネ研究開発拠点竣工(郡山) ★企業立地セミナー(東京)<br>★国際I社E-見本市E-World(2/11-13ドイツNRW州)  |    | ★ふくしま復興住宅フェア(3/15,16郡山)<br>★福島空港カントリー発電 ★福島再エネ研究開発拠点開所(郡山) |      |



# 産業振興と雇用の創出

## ポイント

県内では工場の新増設の動きが急増しています。今後も企業立地補助金による支援等で、雇用の創出と併せた本県産業の復興再生に取り組みます。

### 企業立地支援

#### ◆ふくしま産業復興企業立地補助金

県内に工場等を新設又は増設する企業を支援し、生産規模の拡大と雇用の創出

363社を指定  
(平成25年7月現在)



<指定を受けた主な業種>

- ・輸送用機械関連
- ・半導体関連
- ・医療福祉機器関連
- ・再エネ関連 等

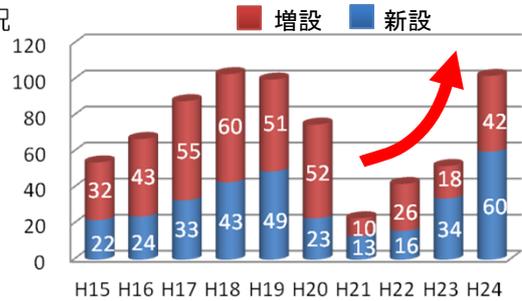
4,507人の  
雇用創出見込み

県内で工場の新増設の動きが急増

福島県内の工場[敷地面積1,000㎡以上]新・増設状況  
※県工業開発条例に基づく設置届出件数

|    | 平成23年<br>1月～12月 | 平成24年<br>1月～12月 | 前年比<br>増減数 |
|----|-----------------|-----------------|------------|
| 増設 | 18件             | 42件             | +24件       |
| 新設 | 34件             | 60件             | +26件       |
| 計  | 52件             | 102件            | +50件       |

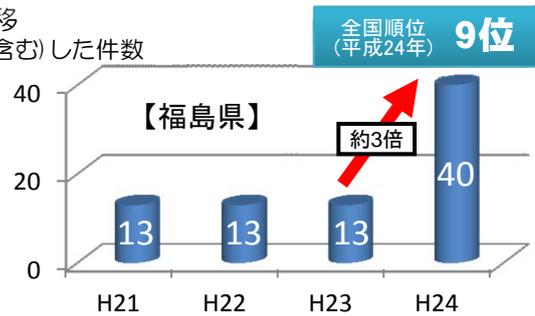
【データ出典】福島県商工労働部調べ



岩手県・宮城県・福島県における工場立地件数の推移  
※建設を目的に1,000㎡以上の用地を新たに取得(借地を含む)した件数

|     | 平成23年<br>1月～12月 | 平成24年<br>1月～12月 | 前年比<br>(平成24年) |
|-----|-----------------|-----------------|----------------|
| 岩手県 | 24件             | 23件             | 95.8%          |
| 宮城県 | 27件             | 32件             | 118.5%         |
| 福島県 | 13件             | 40件             | 307.7%         |

【データ出典】東北経済産業局「平成24年(1月～12月)工場立地動向調査(速報)東北版」



### <主な新設・増設事例>



# ● 研究開発・産業創造拠点の整備

## ポイント

福島県の復興・再生には、単なる復旧にとどまらない先導的な取組が必要であることから、各種研究開発・産業創造拠点の整備を進めています。

### 産業・再生可能エネルギー関連

#### ①会津大学復興支援センター



先端ICT研究により新たなICT産業を創出するとともに、ICTを活用した地域産業振興を担う企業の集積や人材育成に取り組む。

場所 会津若松市(会津大学)

<進捗状況等>

**構想** **設計** **着工** **供用**  
 H25：基本設計・実施設計  
 H26：建設工事等  
 H27：供用開始予定

#### ②福島再生可能エネルギー研究開発拠点



独立行政法人産業技術総合研究所が、再生可能エネルギーの研究開発拠点を整備。

場所 郡山市(郡山西部第二工業団地)

<進捗状況等>

**構想** **設計** **着工** **供用**  
 H24.12：建設工事に着手  
 H26.4：開所予定

#### ③福島県医療機器開発・安全性評価センター(仮称)

医療機器の開発から事業化までの一体的な支援を行うため、大型動物を活用した安全性評価や医療従事者の機器操作トレーニング等を実施する拠点を整備。

場所 郡山市(旧農業試験場跡地)

<進捗状況等>

**構想** **設計** **着工** **供用**  
 H25～26：基本設計・実施設計  
 H26～27：建設工事等  
 H27：年度中の開所を目指す

#### ④浮体式洋上風力発電実証研究事業



洋上風力発電技術の国際標準を福島が先導。研究開発や試験活動の拠点を形成し、風力発電関連産業の集積を目指す。

場所 福島県沖

<進捗状況等>

**構想** **設計** **着工** **供用**  
 H25.7：2,000kWの浮体式風車と浮体式洋上変電設備を福島県沖に設置  
 H25.10：発電開始予定

### 環境・医療関連

#### ⑤福島県環境創造センター(仮称)<三春拠点>



設置準備検討委員会による建設予定地(田村西部工業団地)の視察

放射性物質により汚染された環境を早急に回復し、県民が将来にわたり安心して暮らせる環境を創造するための研究拠点を整備。三春町の施設はモニタリング、調査・研究、情報収集・発信、教育・研修・交流等の機能を持つ。

場所 三春町(田村西部工業団地)

<進捗状況等>

**構想** **設計** **着工** **供用**  
 H24～25：基本設計・実施設計  
 H25～27：建設工事等  
 H27～28：供用開始予定

#### ⑥ふくしま国際医療科学センター



将来にわたり県民の健康を守るため、放射線医学に係る最先端の研究・診療拠点を整備

場所 福島市(県立医科大学)

<進捗状況等>

**構想** **設計** **着工** **供用**  
 H25：実施設計等  
 H26～27：建設工事等  
 H27：年度末に一部供用開始を目指す

#### ⑦福島県環境創造センター(仮称)<南相馬拠点>

放射性物質により汚染された環境を早急に回復し、県民が将来にわたり安心して暮らせる環境を創造するための研究拠点を整備。南相馬市の施設はモニタリング、安全監視機能を持つ。

場所 南相馬市(菅浜ニュースポーツ広場)

<進捗状況等>

**構想** **設計** **着工** **供用**  
 H24～25：基本設計・実施設計  
 H26：建設工事等  
 H27：一部供用開始予定

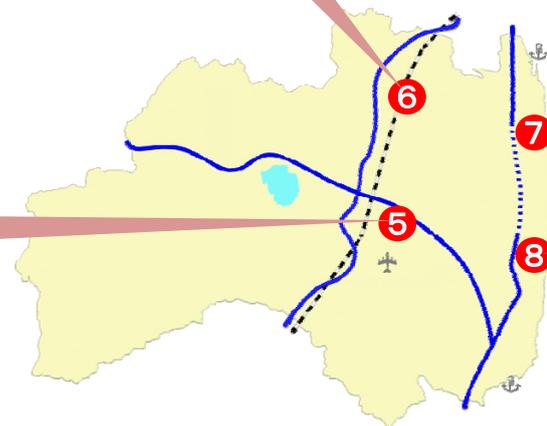
#### ⑧オフサイトセンター

楢葉町に先行設置。福島第一、福島第二に各1箇所整備する方針。

場所 楢葉町(楢葉南工業団地)

<進捗状況等>

**構想** **設計** **着工** **供用**  
 H25：土地建物調査設計  
 H25～26：建設工事等  
 H27：供用開始予定



## ● 県民の健康

### ポイント

県民の心身の健康を見守り、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図ることを目的とした「県民健康管理調査」に取り組み、県民の被ばく線量の推計や震災当時0歳から18歳までの全県民36万人を対象とした甲状腺検査などを実施しています。

### 県民健康管理調査

| 調査内容               | 対象者   |
|--------------------|---|
| 基本調査(被ばく線量の推計)     | ・平成23年3月11日時点での県内居住者 (2,056,994人)                           |
| 甲状腺検査              | ・震災時に概ね18歳以下 約36万人  |
| 健康診査               | ・避難区域などの住民 約21万人<br>・避難区域以外の住民 約19万人 (これまで健診の受診機会が無かった方を対象) |
| こころの健康度・生活習慣に関する調査 | ・避難区域などの住民 約21万人  |
| 妊産婦に関する調査          | ・妊産婦 3万人以上  |

#### 基本調査

- 自記式質問票 **23.4%** (H25.3.31現在)  
(回答者数481,423人/対象者2,056,994人)

＜外部被ばく線量推計結果＞

【全県分】0～2mSv未満の割合 **95%**  
※原発事故発生直後から7/11までの4か月間の外部被ばく線量を推計

#### 甲状腺検査

- ＜先行検査＞(平成23～25年度)  
震災時18歳以下の子どもを対象に現状確認のための検査  
→実施率 約**48.7%** (H25.3.31現在)  
(受診者数175,499人/対象者約36万人)

- ＜本格検査＞(平成26年度～)  
対象者が20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに検査を継続



(平成25年3月31日現在)

#### 検査結果確定者数

**174,376人**

※ 検査結果確定者数は、県内及び県外の検査機関で受診した受診者のうち結果が確定した方の総数。

| 判定結果 | 判定内容                              | 人数      | 割合     |
|------|-----------------------------------|---------|--------|
| A判定  | (A1) 結節や嚢胞を認めなかったもの               | 99,063人 | 56.8%  |
|      | (A2) 5.0mm以下の結節や20.0mm以下の嚢胞を認めたもの | 74,173人 | 42.5%  |
| B判定  | 5.1mm以上の結節や20.1mm以上の嚢胞を認めたもの      | 1,139人  | 0.7%   |
| C判定  | 甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの       | 1人      | 0.001% |

＜参考＞福島県外3県における甲状腺有所見率調査結果

＜対象地域＞  
青森県弘前市、山梨県甲府市、長崎県長崎市  
＜調査対象者＞  
3～18歳の者 4,365人  
＜調査結果＞  
【A1】 1,853人(42.5%)  
【A2】 2,468人(56.5%)  
【B】 44人(1.0%)  
【C】 0人(0.0%)

【出典】環境省報道発表資料



#### ホールボディカウンターによる内部被ばく検査

【検査実施結果(県)】 預託実効線量(おおむね一生涯に体内から受けると思われる内部被ばく量)

| 1ミリシーベルト未満 | 1ミリシーベルト | 2ミリシーベルト | 3ミリシーベルト |
|------------|----------|----------|----------|
| 139,127人   | 14人      | 10人      | 2人       |

※県ではホールボディカウンター18台体制(平成25年6月現在)で検査をしており、18歳以下の子ども、妊婦を優先に実施しております。

累計検査人数(平成23年6月～平成25年6月)139,153人

### 18歳以下の県民の医療費無料化

子どもの健康を守り、県内で安心して子どもを産み、育てやすい環境づくりを進めるため、子育て支援策として、医療費助成の年齢拡大を行い、18歳以下の県民の医療費無料化を平成24年10月からスタートしています。

<参考>社会基盤等の復旧・整備状況

| 項目               |                         | 進捗率    | 復旧・復興の状況<br>/被害状況          | 警戒区域内の状況等  |  |
|------------------|-------------------------|--------|----------------------------|--|--|
| 道路・海岸・鉄道等        | 公共土木施設等災害復旧             | 【着工】   | 73.9%                      | 工事着手1,500か所/海岸、道路、港湾、漁港等施設の災害復旧を要する箇所2,031か所(査定継続実施中)(H25.7.10現在)                            | 二次災害の防止等、必要な応急対策を実施  |
|                  |                         | 【完了】   | 51.8%                      | 工事完了1,052か所/海岸、道路、港湾、漁港等施設の災害復旧を要する箇所2,031か所(査定継続実施中)(H25.7.10現在)                            |  |
|                  | 海岸施設(堤防等)の復旧            | 【着工】   | 56.0%                      | 海岸施設(堤防等)復旧着手地区43地区/被災海岸76地区(警戒区域等除く)(H25.6月末現在)   | 二次災害の防止等、必要な応急対策を実施  |
|                  |                         | 【完了】   | 0.0%                       | 海岸施設(堤防等)復旧完了地区0地区/被災海岸76地区(警戒区域等除く)(H25.6月末現在)  |  |
|                  | 防災緑地の整備状況               | 【着工】   | 0.0%                       | 工事着手地区数0地区/工事予定地区数10地区(用地取得中であり、H25下半年から順次工事着手予定)  | 南相馬市小高区、浪江町、富岡町、榑葉町については、現在、復興まちづくり計画内容を検討中。その他の町については、現在のところ未定。   |
|                  |                         | 【完了】   | 0.0%                       | 工事完了地区数0地区/工事予定地区数10地区   |  |
|                  | 海岸防災林の再生・復旧             | 【着工】   | 50.0%                      | 工事に着工した地区3地区/計画決定防災林6地区(H25.6月末現在)   | 浪江町、富岡町、榑葉町については、現在、復興まちづくり計画で内容を検討中。その他については、現在のところ未定。  |
|                  |                         | 【完了】   | 0.0%                       | 工事が完了した地区0地区/計画決定防災林6地区(H25.6月末現在)   |  |
|                  | 常磐自動車道整備状況              | 【着工】   | 100.0%                     | 着工延長128km/総整備延長128km(県内延長)   | ・避難指示区域内区間約42km<br>・開通目標→広野IC～常磐富岡IC:平成25年度内、浪江IC～南相馬IC:平成26年度内、常磐富岡IC～浪江IC:平成26年度内を目指す他の供用区間から大きく遅れない時期 |
|                  |                         | 【完了】   | 50.8%                      | 開通延長65km/総整備延長128km(県内延長)  |  |
| 東北中央自動車道(福島～米沢間) | 【着工】                    | 100.0% | 着工延長17km/総整備延長17km(県内延長)   | ・全線供用開始→平成29年度目標   |  |
|                  | 【完了】                    | 0.0%   | 開通延長0km/総整備延長17km(県内延長)    |  |  |
| 東北中央自動車道(相馬～福島間) | 【着工】                    | 75.6%  | 着工延長34km/総整備延長45km         |  |  |
|                  | 【完了】                    | 0.0%   | 開通延長0km/総整備延長45km          |  |  |
| JR常磐線運行再開状況      |                         | 52.3%  | 県内運転再開距離69.3km/運休距離132.6km | ・帰還困難区域内運休距離20.8km(H25.7.1現在)<br>・相馬以北の運転再開時期、平成29年春頃<br>・広野・竜田駅間は平成26年春の榑葉町の帰還判断に合わせて運転再開予定 |  |
| JR只見線運行再開状況      |                         | 70.9%  | 県内運転再開距離67.4km/運休距離95km    |  |  |
| 集団移転             | 復興まちづくり(防災集団移転)         | 【着工】   | 35.0%                      | 造成工事に着手した地区数21地区/集団移転促進事業計画について国土交通大臣の同意を得た地区数60地区   |  |
|                  |                         | 【完了】   | 6.7%                       | 造成工事が完了した地区数4地区/集団移転促進事業計画について国土交通大臣の同意を得た地区数60地区  |  |
| 医療・福祉施設          | 病院(休止病院の再開状況)           |        | 0.0%                       | 再開した病院0施設/休止している病院7施設  | ・帰還困難区域内の病院3施設<br>・避難指示解除準備区域内の病院3施設<br>・居住制限区域の病院1施設  |
|                  | 社会福祉施設(高齢者施設・保護施設の再開状況) |        | 68.6%                      | 再開施設24施設(仮施設等で再開した9施設含む)/震災後休止した施設35施設   | 避難指示区域内市町村の施設で別の場所で再開した施設数<br>・帰還困難区域4施設<br>・避難指示解除準備区域内3施設<br>・居住制限区域2施設                                |
|                  | 児童福祉施設(認可保育所の再開状況)      |        | 75.9%                      | 再開施設22施設(別の場所で再開した13施設含む)/震災後休止した施設29施設  | 避難指示区域内市町村の施設で別の場所で再開した施設数<br>・帰還困難区域2施設<br>・避難指示解除準備区域内2施設<br>・居住制限区域2施設                                |
| 学校               | 県立学校の復旧状況               |        | 90.1%                      | 完了数868件/被災施設数963件(92校)(H25.3.31現在)   | サテライト校として再開した県立学校8校  |

\* 避難指示区域の状況は平成25年6月1日現在の状況である。

- ・計画的避難区域内(川俣町一部)・帰還困難区域(南相馬市一部、大熊町一部、富岡町一部、浪江町一部、双葉町一部、飯館村一部、葛尾村一部)
- ・避難指示解除準備区域内(南相馬市一部、田村市一部、榑葉町一部、大熊町一部、富岡町一部、浪江町一部、双葉町一部、川内村一部、飯館村一部、葛尾村一部)

# ふくしま宣言

2011年3月11日午後2時46分。

あの日、あの時を迎えるまで、このふくしまの姿を誰が想像できたでしょうか。

大地震、大津波は、多くの尊い命と穏やかだった私たちの暮らしを、非情にも奪い去りました。

原子力災害は、美しいふくしまを一変させました。

さらに、風評被害は、地域の活力を奪い、私たちの心までも深く傷つけました。

この1年、福島県民は、深い悲しみや悔しさを抱えながら、ある人は、住み慣れた土地を追われ、ある人は、少しでも元の暮らしを取り戻そうと汗を流し、またある人は、家族離ればなれの生活を選びました。そして、見えない放射線への不安とも闘いながら、それぞれが必死に毎日を生き抜いてきました。

これほど厳しい状況にあっても、取り乱すことなく、地域のきずなを大事にしながら、一生懸命頑張っている県民の皆さんを、私は誇りに思っております。200万県民一人一人の努力と温かい心に、深く敬意を表します。

全国、そして世界の皆さん、これまでの、心のこもった数え切れない御支援に、福島県民は大いに助けられ、励まされ、勇気をいただきました。改めて、心より感謝を申し上げます。

皆さんの支えと県民の努力があって、このふくしまにも、今ようやく復興の芽が出始めました。

この小さな芽を、私たちみんなの手で、しっかりと大きく育てたい。そして、やがて大きくなったその木の下に、笑顔あふれる子どもたちが集まる、そうしたふくしまを、私は創っていきたくと考えています。

地震・津波という自然災害に始まり、原子力災害さらには風評被害、人類がこれまで経験したことのない、このような多重の災害が、なぜ起きてしまったのか、私たちはしっかりと考えなければなりません。

「自然の脅威に対する十分な備えができていたか。」

「科学技術の力を過大に評価していなかったか。」

「原子力を扱うことの難しさと正面から向き合ってきたらどうか…。」

これらの問いの中に、未来への大切な教訓があるはずです。

私たちは、科学技術の力を過信することなく、自然の持つ力の大きさをもう一度しっかりと心に刻み、全ての人が安心して暮らせる社会づくりを進めていきます。

そして、二度とこのようなことが起きないように、県内の原子力発電所を全て廃炉とすることを求めながら、再生可能エネルギーを推進し、原子力に頼らずに、発展し続けていくことができる社会を目指します。

今、全世界の人がFUKUSHIMAを見つめています。私たちは、地域の発展と地球環境の保持が両立できる新しい社会の在り方を、さらに、そこに暮らす人々が共に支え合い、地域の文化や誇りをつないでいくことの大切さを、復興していく自らの姿をもって、世界に示してまいります。

ふくしまが選んだ道は、決して平坦な道ではありませんが、県民は、すでに前を向いて立ち上がり、歩き始めています。県民が心をつにして、この困難に立ち向かってまいります。

「私たちは必ず、美しいふるさとふくしまを取り戻します。

私たちは必ず、活力と笑顔あふれるふくしまを築いていきます。

そして私たちは、このふくしま復興の姿を世界へ、未来へと伝えます。」

災害発生から1年を迎えた本日、これを「ふくしま宣言」として、全世界の皆さんにお誓いいたします。

2012年3月11日 福島県知事 佐藤 雄平



福島県復興シンボルキャラクター  
「ふくしまからはじめよう。キビタン」

福島県企画調整部 復興・総合計画課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号 Tel 024-521-1111(代表)

E-mail sougoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp